

# 寿都町総合振興計画の策定にあたって

寿都町は、平成 22 年に策定した「第 7 次寿都町総合振興計画」で～地域の宝を、地域の輝きにつなげる安らぎのまち～を将来テーマとし、寿都に関わりをもつすべての人々にとって“応援したくなるふるさと”となるよう、また、町の特色や資源を最大限に活用し、町民、企業、行政が共に力を合わせ、豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めてきました。

この間、町を取り巻く情勢は、グローバル化や AI や IoT がもたらす目まぐるしい技術革新など、劇的に変革している一方、地球温暖化がもたらす大規模災害の頻発や、人口減少、少子高齢化など大きな課題となっております。

こうした社会の動向や寿都町を取り巻く地域課題を踏まえ、「第 8 次寿都町総合振興計画」を策定しました。

新しい総合振興計画は、令和 11 年度（2029 年度）を目標年度とする 10 年計画であり、「人」「海」「山」「川」「風」「歴史」「文化」など地域のあらゆるモノを地域資源ととらえたうえで最大限に活かし、その活力を持続的に循環することで、安心・安全で豊かにくらし続けていけるまちをめざし、町の将来像を



## 地域の資源を地域の活力とした、賑わいあふれるまち

と掲げました。その実現のため、

- やさしさとふれあいのあるまち
- 地域資源を活かし、賑わいを創出するまち
- 安全・快適で自然を守り育むまち
- 地域を知り、人を豊かに育むまち
- すべての人が輝く協働のまち

を 5 つの基本目標にすえ、豊かな地域社会の創造をめざすものであります。

この総合振興計画策定にあたって、貴重なご意見やご提言を寄せていただきました寿都町総合振興計画策定審議会委員や意向調査にご協力いただきました町民の皆様には心から感謝申し上げますとともに、「みんなで作ろう寿の都」をスローガンに、寿都町の新たなまちづくりを町民皆様とともに全力で取り組んでまいります。

令和 2 年 3 月

寿都町長 片岡 春雄

# 寿都町民憲章

わたくしたちは、豊かな日本海の幸とうつくしい自然に恵まれた寿都の町民です。  
わたくしたちは、先人が北のきびしい風雪に耐えてつくりあげたこの町に誇りを持ち、より豊かな住みよい町づくりを目指し、この憲章を定めます。

- 元気で働き、力を合わせて豊かな町をつくりましょう。
- 自然を大切にし、清潔な美しい町をつくりましょう。
- きまりを守り、思いやりのある明るい町をつくりましょう。
- 若い力を育て、教養を高めて文化の町をつくりましょう。
- 郷土を愛し、未来を見つめて伸びゆく町をつくりましょう。

昭和 60 年 9 月 20 日制定